

たかちほ

議会だより

2016

7.22

NO.91



先生のマジック
すご〜い!!

(天岩戸保育園)

熊本地震の対策は (4)
国保の税率を引上げ (6)
一般質問に4人が登壇 (8~9)

で～する!! でげなる?

総括質疑



【質疑】 ふるさと応援基金の当初予算1億2000万円を達成できなかったが、27年度とは違う予算達成の戦略はあるか。

【答弁】 今年になり全日空でふるさと納税の「ホ

ームページ申し込みサイト」を開設し、少しではあるが申し込みが増えた。記念品の発送も管理システム化の予算を計上し効率化を図っている。

総括質疑

ふるさと納税の戦略は

【質疑】 木造住宅リフォーム補助金が1300万円の増額となっているが件数とその経済効果は。

【答弁】 93件の申し込みがあり補助金の総額が1800万円である。事業費としては1億8600万円ほどになっており、かなりの事業量となる。



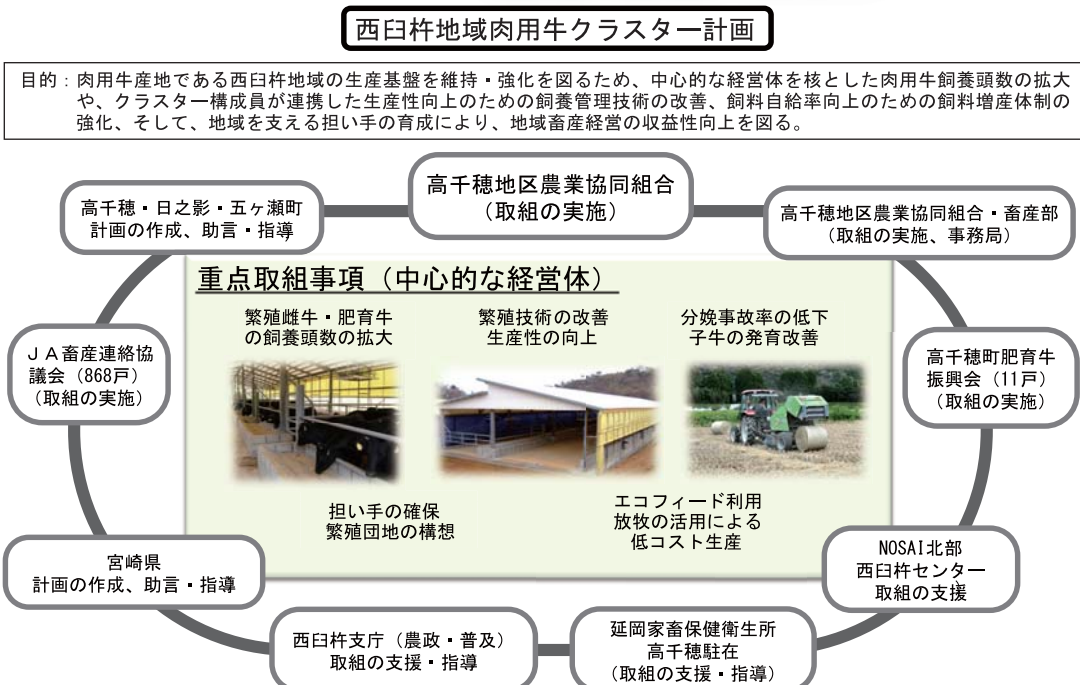
【質疑】 国民健康保険病院会計の補正で建設改良費が2300万円増額だが、その理由は何か。

【答弁】 病院として在宅復帰に向けたリハビリの職員充足に努めており、現在医学療法士5人、作業療法士2人が在籍している。病院の会議室を作業療法室に転用しており、会議は他の施設を利用している状況である。当初計画の240㎡を296㎡に改めるが会議室としての利用だけではなく震災での避難所や病院の待合所としても検討している。

リフォーム事業の効果は

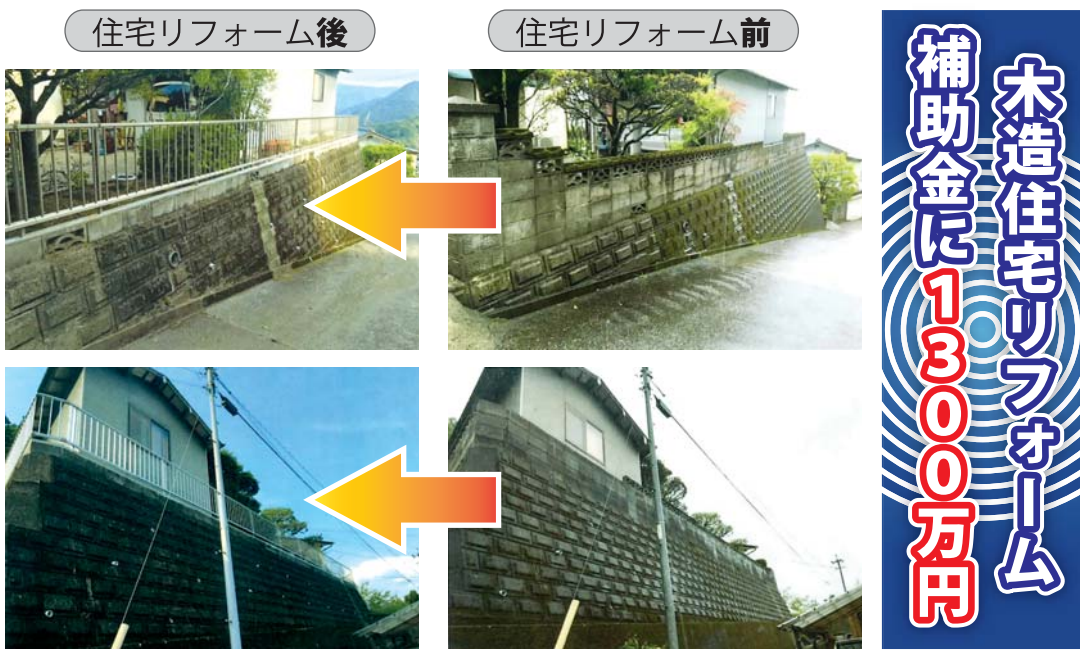
会議室を増設（町立病院）

畜産クラスター事業に 5985万円



西臼杵地域の肉用牛生産状況

西臼杵地域の肉用牛生産は、農業生産額のうち約6割を占めており、小規模な生産農家が主体となっているなか、平成19年には過去最高の繁殖母牛6500頭に達した。その後は生産者の高齢化、後継者不足、飼料価格の高騰などにより現在では4500頭ほどになっている。



木造住宅リフォーム補助金に1300万円

6月定例会のあらまし

6月定例会は、6日から13日までの8日間で、一般会計・下水道事業特別会計繰越明許費の報告2件、専決処分とする条例改正の承認4件、補正予算の承認5件、条例改正議案1件、補正予算議案6件を慎重審議し全員賛成で原案通り可決しました。

27年度一般会計は、1億4352万円を減額し、総額83億1802万円となりました。

28年度一般会計は、専決処分の補正8050万円を含む2億3673万円を追加し、総額81億8673万円です。28年度補正予算の主な内容は、熊本地震の災害復旧事業費に7900万円、畜産競争力強化整備事業（クラスター事業）補助金に5985万円、木造住宅リフォーム補助金に1300万円などです。

先進地から 空き家対策・女性起業支援策を学ぶ

1日目 平成28年4月12日

- 場所：新潟県燕市
- 内容：空き家対策について

2日目 平成28年4月13日

- 場所：埼玉県熊谷市
- 内容：空き店舗の利活用と女性起業支援について



感想

空き家問題に対処するため、協定締結団体と市が一体となって、総合的に推進していく、空き家対策の体制づくりや、空き家バンク設立などたいへん興味深く参考になった。

熊谷市の女性起業促進の取り組みは、女性の活躍によって経済を活性化させる試みのひとつで、女性が起業するためのノウハウを教えて、後押しするもので、本町でもできればと強く思った。



本町でも震度5強を観測 災害復旧費1億3790万円

熊本地震

やっと通るばい



高千穂峡 1500 万円

4月14日・16日に発生した「熊本地震」により、本町においても町道42ヶ所、農地や林道15ヶ所、水道3施設、観光名所も大きな被害となった。
行政も全力で復旧に取り組んでいるが、町民への日常生活や経済面での影響が長引く事が予想される。
第2回定例会において、道路関係の災害復旧費1億3790万円を承認した。
議会として町民の安心・安全のため、早急な対策を講じるように強く要望した。

あぶねえったいのお



上岩戸日向地区 6500 万円

お願いします



6月27日、議長・副議長が河野知事を表敬し、熊本地震の被害状況報告と、西田幹（本町）への支援・協力の御礼、観光客の激減状況を伝

えました。
今後も、観光業への影響が長引くことが予想されるため、更なる支援要請を知事と商工労働部長にしました。

県知事へ支援要請

先進地から地域包括ケアと障がい者の農作業受託事業を学ぶ

1日目 平成28年4月12日

- 場所：新潟県長岡市（長岡福祉協会）
- 内容：先進的な地域包括ケアシステムについて

2日目 平成28年4月13日

- 場所：新潟県長岡市（中越福祉協会）
- 内容：障がい者の農作業受託事業について

目的

高齢化や過疎化によって、家族・地域の介護力が低下している中、介護ニーズは増加と多様化の一途をたどっている。

また、介護職員の処遇改善、施設への入所待機者の増加や適切な介護の在り方など問題は山積みである。

住み慣れた高千穂で、生き生きと安心して暮らすための環境や方針、施設などを先進地にて学ぶ必要があるため。



障がい者が住みよい町は健常者も住みよい町だ!!



▲農福連携の取り組み

▲もくもくと石拾い

サポートセンター摂田屋

バーカウンター ◀施設入口



▼ホテルのフロントをイメージ



制服はなし！
家族として対応

サポートセンター喜多町



▲施設内では使い慣れた“マイ家具”“マイ食器”

感想

先進的な自治体に出向き、研修で得た知識やアイデアを本町で実現できない事例も数多くあるが、今回の視察先で得た知識やアイデアは是が非でも実現させたいものが沢山あった。

どちらの福祉法人においても、事業者目線ではなく入居者と入居者の家族目線で物事を捉えており、方針や工夫は見習う点ばかりであった。

障がい者のストレス軽減から始まった『農作業受託サポーター配置事業』では、障がい者を知らないことから始まる差別と偏見の解消にも繋げていた。

名門コシヒカリの大産地、新潟県で『農福連携』を実践し、少子高齢化や後継者不足などの現代農業を取り巻く難しい課題解決にも役立っていることは、大いに評価すべきものであり、農業が基幹産業の本町も早急に取り組むべきと感じた。



げんき荘

全員賛成で可決

本町は、平成27年度1件当たりと1日当たりの費用額は県内で1位であり、国保税の額は町民生活に直結しているため、急激な税率の引き上げを抑えることが重要です。

今後は、福祉保険課の医療分析をもとに、町立病院やげんき荘など関係機関と連携し、各種の健診事業や予防事業を積極的に展開し、税額の抑制に努めることを要望しました。

委員会の意見

医療費給付費分、後期高齢者支援金分、介護納付金分の所得割の税率を0・2%から0・4%に引き上げ、均等割、平等割は年額600円引き上げます。

主な改正内容

なくなるため、必要最小限の引き上げを行います。



木の花幼稚園

年齢制限を撤廃 保育料の改正

子ども・子育て支援法施行令の一部を改正する政令により、多子世帯に係る特別措置が拡充されました。

従来の保育料は、保護者が監護している生計が同一の子等であれば、第1子が、教育認定の場合は小学校3年

生まで、保育認定の場合は小学校就学前までであれば、第2子は半額、第3子以降は無料となっていました。

今回の改正で、次の世帯についてはその第1子の年齢制限（上限）が撤廃されました。

対象となった世帯

保育料算定の基礎となる世帯の町民税の所得割額が、教育認定子ども（幼稚園）は7万7101円未満、保育認定子ども（保育所）は5万7700円未満の世帯が対象となりました。

また、要保護世帯等（ひとり親世帯等）では、保育料算定における町民税の所得割額が7万7101円未満の場合、第1子が半額、第2子以降が無料となりました。

詳しいことは役場福祉保険課までお問い合わせください。
0982(73)1202



佐藤久生議員

早急な人口減少対策を

町長 各種団体と検討する

問 全国的に人口減少が問題となつている今日、特に中山間地域の減少が著しく、対策に苦慮している。

本町でも、企業誘致や子育て支援、子ども医療費の無料化など色々な施策に取り組んできたが、有効な対策がみつからないのが現状であり、このままではますます人口減少が加速化する。

と地元への定着を促進することになり地域の活性化にもつながる。事業主に対し、奨励金を交付する事はできないか。

町長 人口減少については全国の各自治体が地方創生として取り組んでいる。

本町でも、子育て支援・移住定住・コワーキング事業の人口減少対策や、企業立地雇用対策の条例制定など、雇用対策にも取り組んでいる。

正規雇用する事業主に対しての奨励金交付は、他の自治体でも助成しており、今回の提案を各種団体とともに前向きに検討する。



奈須克喜議員

熊本地震の被害対策は

町長 前向きに検討する

問 熊本地震により本町も道路が崩れるなど、さまざまな被害があり復旧工事がおこなわれている。中でも熊本からの主要道路崩落により観光業が落ち込み、ゴールデンウィークの入込客数が前年比6割以上の減少となった。

そこで、熊本県側からの町内入り込み道路の地図作成や、看板設置、風評被害対策、町独自の金融支援策などの取り組みはできないか。

町長 金融支援策として、中小企業特別融資制度がある。

必要があれば、商工会及び金融機関との協議の上、原資の増額を検討したい。

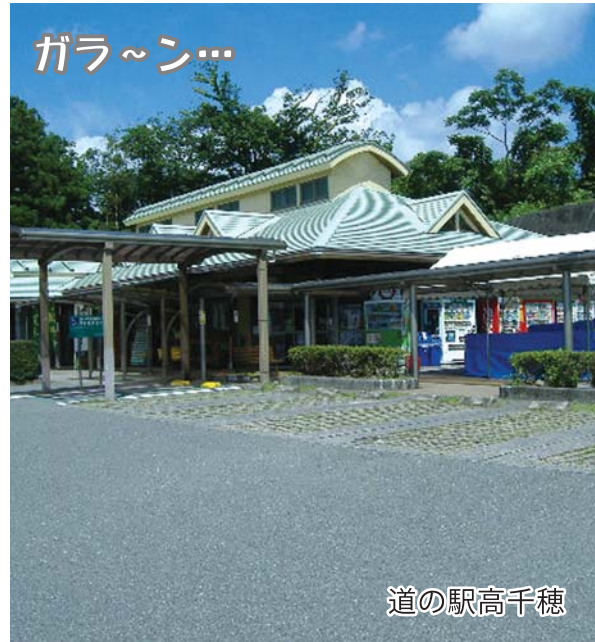
風評被害については、さまざまな形で日本全国に、安心、安全である事を、宣伝していく。

道路地図は、観光協会で作成し、県外の観光業者に配布しており、看板についても必要な箇所の検討をおこなう。



しんから聞くばい!!

町長に4人が質問



道の駅高千穂



飯干清喜議員

世界農業遺産の今後は

町長 各種事業の展開を図る

問 世界農業遺産認定後の可能性と、ロゴマークやポスターなどの活用、管理はどのようにおこなっていくのか。

町長 県農政企画課を新設し、今年度から県と5市町村が連携して「戦略策定」「伝統

継承」「広報宣伝」をおこなうプロジェクトチームを編成し取り組みを確認した。

協議会としては、夏頃までに、ロゴマーク作成や標柱の設置、ポスターやパンフレット、ホームページ、PR動画などを製作することになっている。

問 男女共同参画条例で、社会の対等な構成員としてあらゆる分野の格差を無くすというたっているが、本町においてはどのような支援、取り組みをおこなっているか。

町長 男女共同参画推進条例を制定し、今年度は男女共同参画の基本計画(案)策定に向け準備を進めている。

問 胃がんの主な原因であるピロリ菌に感染すると慢性胃炎になり、慢性胃炎の状態では除菌すれば胃がんになるリスクが低くなり、大幅に医療費も抑制できる。

多くの方に検査して頂くために、各種健診項目にピロリ菌検査を入れることは出来ないか。



中島早苗議員

健診にピロリ菌検査を

町長 動向を踏まえ検討したい

ピロリ菌がいますねえ



田んぼアート (中川登)

町長 推進条例を制定し、今年度は男女共同参画の基本計画(案)策定に向け準備を進めている。

本町の平成26年度管理職登用については、26市町村で16・7%とトップであり、平成27年度は、14・3%の2位である。

男女平等を基本に適材、適所でおこなってきており、今後も同様におこなっていく。

ある程度のがん予防効果があることも明らかになっているので、国の方針や健診機関の動向を踏まえ、前向きに検討したい。



宮崎県畜産共進会（高千穂）

→ 一歩一歩
積み重ね

ピックアップ! このひと

上野・農業 田邊 貴紀 (38)

プロフィール

- 高千穂高校卒
- 佐賀大学農学部生物生産学科卒
- 就農18年目。昨年、父親より経営移譲
- 宮崎県SAP会議連合副理事長、事務局長を歴任
- 現在、JA高千穂地区青年部副部長

これまでの歩み

就農当時は和牛繁殖（母牛10頭）・露地キュウリ・スイートピー栽培の複合経営でした。平成17年に県単事業で牛舎を建設し、母牛30頭に増頭後も各種事業を活用し、60頭の和牛繁殖経営へ一本化しています。今までに県畜産共進会に2度出品でき、今年度、国の畜産クラスター事業で牛舎建設を予定しています。

心がけ

繁殖農家の基本だと思いますが、牛への観察を怠らず、病気の早期発見・早期治療に努めています。

また、母牛へ適期に授精出来る様に獣医師や人工授精師と相談しながら、母牛の飼養管理に努めています。

子牛の高値相場が続いている今こそ、購買者に購入して喜んで貰える子牛づくりを目指したいと思っています。

自宅近くにある牛舎

うれしいこと

やはり品評会で上位入賞やセリ市で高値販売できた時です。

夢は

県畜産共進会で首席になり、県代表牛になることです。

容易ではないと思いますが、来年開催の全国和牛能力共進会（宮城大会）、6年後の鹿児島大会に出品を果たすことです。

「この中山間地域でもここまで和牛繁殖経営が出来るんだ」と言える頭数に規模拡大したいと考えています。

若者に一言

目標達成への積み重ねこそが人生だと思っています。

達成までには失敗や挫折があり、周りの理解や協力なしでは達成できないこともあると思いますが、周りへの感謝を忘れず、一歩一歩目標に向かって頑張ります。

どうぞ傍聴席へ

次の定例議会は8月30日開会予定です。

傍聴のお申込みは、お気軽に議会事務局にお尋ねください。

TEL 73-1219
(議会事務局直通)



愛情たっぷりで育てています

ないこともあると思いますが、周りへの感謝を忘れず、一歩一歩目標に向かって頑張ります。

編集後記

熊本地震で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

本町も観光業を中心に甚大な影響が続くと考えられます。

熊本・大分の早急な復興が求められていますが、本町も活力を取り戻す地域力が試されていると思います。

元氣を取り戻すため町民一丸となつてこの難局を乗り越えていきましょう。

また、日頃から防災意識を高めておくことが大事であり「備えあれば憂いなし」です。(S・T)

発行責任者

議長 佐藤 節生

議会報編集委員会

委員長 本願和茂
副委員長 中島早苗
委員 富高友子
委員 戸高清次
委員 坂本弘明
委員 馬原英治